

2023（令和5）年度 あんずの家事業報告書

はじめに

令和2年度から令和5年度は、新型コロナウイルス感染症対策に追われた3年間であったが、今もなお、時折ではあるがクラスターとなっている施設があることを耳にし、これまでと同様の感染防止対策は継続していかなければならない。

継続的な課題となっている職員の確保については、年末からの退職が相次ぎ、配置基準をクリアできたものの、看護師は秋ごろより、3人採用したが、いずれも医療的ケアが必要な人への対応が難しいとのことで数日の勤務で退職となり、定着にはつながらなかった。紹介会社へ依頼するも、こちらの勤務条件に合う人がなく、土日祝祭日の休みが条件となっている人がほとんどであった。事業運営を考えると休日を増やせば減収となるが、働いてくれる人がいなければ、事業そのものが成り立たなくことから、こちらが働いてもらえる条件に変えることが必要と判断し、新年度より土日祝祭日は休業するよう変更する。

経営の安定に欠かせない報酬については、令和6年度の報酬改定の具体案が示された2月、新しい報酬での試算を行ったところ、現状のままでは今年度より約2千万円の減収となり、赤字に転落することが判明した。減収幅を最大限小さくするには、サービス提供時間を今より1時間延ばし基本報酬の区分をあげることが必要であることから、送迎を近距離コース、遠距離コースに組み換え、近距離コースの人は、サービス提供時間を1時間長くし、長距離コースは、これまで通りの時間とした。さらに7月からは、グループホームの8名の利用者に、7時間以上のサービスを提供できるようになることから、当初の予算では約800万円の減収となった。その後、年度末になって送迎時間についての緩和措置が出され、往復で3時間以上の場合は1時間の上乗せが、住居内でのトランスファーや移動のサポート、乗車中の障害特性による配慮も上乗せが認められこととなった。また、従来の加算に加え、重度障害者支援加算では区分6の人の単価が倍増となり、医療的ケアが必要な人や、重度心身障害の人が対象となる入浴支援加算の取得や、最上位の処遇改善加算の取得により、前年度と同水準の収入が見込めることとなった。事業の継続性は収入の安定に比例しており、新たな加算の取得や利用率の増加に努めていかなければならない。

義務化された虐待防止については委員会を設置し、公的研修受講者による伝達研修や研修動画を視聴し、虐待を許さない風土づくりを進めた。また、身体拘束の適正化を図るため身体拘束適正化委員会を開催し、日常的に使用している車椅子に付属しているベルト等の身体拘束と示されている補助具の使用の可否について個々に協議し、活動を行うためや体幹保持のために必要であることを確認し、家族への説明を行った。そして、研修により緊急時のみに許される原則についても理解を深めるよう図った。この他新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画と自然災害発生時における業務継続計画については、年度当初に改定し第2版を策定したが、今後は、グループホームとの連携を念頭に改定していかなければならない。

1 利用者の支援

(1) 日常生活を支える

①食事：個々の年齢や咀嚼の状況に応じて、刻み食やミキサー食の提供や、その時々体調によ

る申し出により、おかゆなどの提供も行った。摂食の状況は、健康維持の目安となるよう日々ケアコラボに記録している。業務委託先の日米クックとは、検食を通じて、安全で美味しい昼食を提供してもらえよう意見を伝えるとともに、利用者の嗜好を調査し、安全で美味しい昼食の提供に努めた。

②排泄：トランスファーや衣服の着脱、後始末、オムツ交換など自分の力ではできないことや、安全のために必要な介護を行い、快適に過ごしていただけるように支援した。

日々の記録はケアコラボに時系列で記録し、体調の変化に気づけるようにしている。

③入浴：希望者に週2回を目安に、入浴前にはバイタルチェックを行い、健康状態を確認して実施した。皮膚疾患の発見や、薬の塗布等、家庭と連携をとりながら適切な対応に努めた。入浴の実施については、ケアコラボに記録している。

④健康管理：年度初めに、緊急時情報カードの書き換えを行い、服薬等の情報を最新のものにし、服薬管理及び救急搬送時への備えを整えた。

また、感染症の予防対策として、登所時の手指消毒、排泄後、昼食前の手洗いと消毒を年間通して行った。また、到着後には、血圧、体温、SP02のバイタルチェックを行うとともに、昼食後の検温により体調管理に努めた。この他、体重測定を月1回実施し、体重が大幅に減少している人には、かかりつけ医での検診を勧め、原因の早期発見に努めた。これらの数値は、日々ケアコラボに記録することで、週・月単位でのグラフ化が可能となっており、異変への気づきのデータとなっている。

⑤医療的ケア：あんずの家における医療的ケア実施要綱に基づき、胃ろう、喀痰吸引、浣腸などの医療的ケア実施希望者3名に医療的ケアを実施した。実施にあたっては、保護者が家庭において実施されている手順、内容と違いがないよう情報交換を密にした。

(2) 活動を支える

①生産活動【総収入額：628,864円／総支出額：542,715円】差引86,149円

※前期末残高1,169,030円に差引残高86,149円を加えると当期末残高は1,255,179円。

・さをり織り【売上高：618,854円 原材料費など：163,651円 差引455,203円】

令和5年度も市内の施設で共同受注した福山市敬老の日特別記念品制作において、布の提供を行うことができた。その他、虹の手織り展や県立博物館での委託販売での売り上げもあったが少額にとどまった。

・印刷（名刺印刷など）【売上高：10,000円 製作費：10,000円 差引0円】

CG作品の販売収益として10,000円の収入があり、作者に工賃として支給した。

※上記の生産活動にかかわった利用者には、工賃として年間379,064円支給した。

②レクリエーション

・利用者さんお一人おひとりが、集団の中で楽しめるようゲームを考案し実施した。その中で参加する喜びや、勝つことの嬉しさを味わっていただけるよう支援した。また、個々の楽しめることにも取り組んでもらおうと、個別の活動も行った。

2. 利用者の状況

(1) 月別利用状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	20	22	22	22	21	20	22	22	21	21	21	22	256
基準人数	400	440	440	440	420	400	440	440	420	420	420	440	5120
登録者数	20	20	21	22	22	23	23	22	23	22	22	21	—
延利用者数	342	376	357	380	353	348	395	391	375	358	360	370	4407
利用率	85.5%	85.4%	81.1%	86.3%	84.0%	87.0%	89.7%	88.8%	89.2%	85.2%	85.7%	84.0%	86.0%

※基準人数：開所日数に定員20人を乗じて算出している。

※利用率：延利用者数を基準人数で除して算出している。

令和5年度は、登録利用者20名でのスタートであったが、年間を通して4名が利用を開始され、3名が退所され、年度末は21名となった。利用者が増えたことで利用率は、前年度10.4%増と大きく上昇した。

(2) 障害程度の状況 (2024年3月31日時点での在籍者数21人)

単位：人

	障害支援区分				身体障害者手帳				療育手帳				精神
	区分6	区分5	区分4	区分3	1級	2級	3級	6級	㊶	A	㊷	B	2級
男	10	2	1	1	11	1	0	1	3	3	1	2	1
女	5	1	0	0	6	1	0	0	2	0	0	2	1
計	15	3	2	1	17	2	0	1	5	3	1	4	2

※障害程度区分、身体・療育・精神手帳、いずれの欄も、障害程度は左が最も重い障害となっている。

障害支援区分の更新に際しては認定項目に基づいてシミュレーションを行い、適正な区分が維持できるように情報提供を行った。

(3) 年齢別利用者の状況

単位：人

年齢	～20	21～25	26～30	31～35	36～40	41～50	51～60	61～
男	0	0	3	1	1	6	2	1
女	1	1	0	0	0	2	0	3
計	1	1	3	1	1	8	2	4

※ 平均年齢 40.9歳 最年少 19歳 最高齢 66歳

3. 発表の場

《芸術活動》

2023年7月11日(火)～7月17日(月) 陽と風と…展	ふくやま美術館
2023年10月30日(火)～11月5日(日) あいサポートアート展	広島県立美術館
2023年11月28日(火)～12月3日(日) あいサポートアート展	ふくやま美術館

4. 販売の場（さをり製品）

2024年3月6日～10日	虹の手織り展	天満屋
不定期	イベント等での委託販売	トータルライフサポート

5. 交流の場

2023年12月22日	暁の星女子中学校クリスマス奉仕	あんずの家
-------------	-----------------	-------

6. 年間実施行事

2023年5月3日(金)	宝探し&ビンゴゲーム大会	あんずの家
2023年9月2日(月)	そうめん流し	あんずの家
2023年11月1日(水) 11月2日(木)	秋色探し散歩	駅家公園
2023年11月3日(金)	芋ほり大会	あんずの家
2023年12月21(木)	焼き芋大会	あんずの家
2023年12月25日(月)	クリスマス会	あんずの家
2023年1月4日(水)	書初め大会	駅家公園

《自衛消防訓練》

実施月日	10月4日(水)・1月11日(木)
------	-------------------

7. 実習受入

介護体験	0人	職場体験(中学生)	中止	実習(特別支援学校)	2名
------	----	-----------	----	------------	----

8. 苦情件数

令和5年度における苦情件数は0件。施設内での事故も0件であった。